

◆ 2021年度活動報告シート ◆

団体名：SDGsまちづくりひろば in Shiki

24A-06

代表者：代表 本間 敏文

URL :

1. 活動が必要とされた状況

一昨年11月から、志木市内にてSDGsの普及活動を実施していますが、コロナウイルス感染もあり、思うように普及活動ができませんでした。

これからも、より良い世の中にするため、SDGsの普及活動は必要と思われれます。



【河川敷でのごみ拾い】

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

まずは、SDGsの発信拠点となるステークホルダーづくりのため、市民団体、企業、学校、町内会等に働きかけました。また、ステークホルダー同士の横繋がりによる新たな仕組みづくりも始めています。

その他に、SDGsに繋がる様々なイベントに参加し、実施しました。具体的には、河川敷でのごみ拾い（10月、参加者6名）、巨樹ツアー（11月、参加者28名）を実施しました。

また、市役所主催の消費生活展（12月、来場者約150名）へ出展及びシニア向け大学でのSDGsの講義（1月、参加者47名）を実施しました。



【SDGsの集い・巨樹ツアー】

3. 活動の成果

サイサン環境保全基金殿からの助成金にて作成したSDGsのパンフレットの配布状況は、活動を開始してから約1万部配布され、世帯数で計算しますと約28%の普及率となりました。

また、様々なイベントに参加、実施することにより、SDGsの普及に繋がり、SDGsの目標のアクション実施へのチャレンジにも繋がりました。



【消費生活展・パネル展】

4. 今後に残された課題

一般市民においては、まだまだSDGsを知らない人が多く、少しでも多くの人にSDGsを理解してもらい、より良い世の中になるように引き続きSDGsの普及活動を実施していきます。

特に自然環境に関連するSDGsの目標が重要であり、また、SDGsの目標の基盤ともなっていることを強調していきます。